



JA さいたまによる農産物直売イベントに伺いました。



6月23日、市役所東側口ビーにて、JA さいたまによる農産物直売イベントが開催されました。

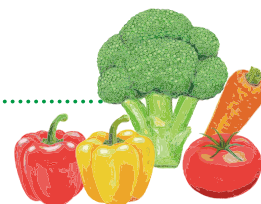
埼玉県産を中心に、新鮮な採れたて野菜や季節の果物が購入できるとあって、オープン前から多くの方が訪れ、にぎわいを見せていました。農地の少ない本市では農産物の直売は貴重な機会です。議会としても、市民の皆さんに喜んでいただける取り組みを応援していきます。



「採れたての新鮮野菜がずらり！」

会場には、旬の野菜や果物などがずらりと並びました。

生産者の方が丁寧に育てた野菜は、どれもみずみずしく、色鮮やかでした。



「毎月の開催を楽しみにしています。」

「新鮮でついつい
買いすぎてしまいました。」

来場者
の声

「旬の果物を買いました。
食べるのが楽しみです。」



予 告

「今後の開催予定」次回の開催もお楽しみに！

- ・次回は、8月25日（火）10時30分から開催予定です。皆さんもぜひご来場ください！



令和8年6月定例会

議案などの
詳細はこちら



主な議案

今定例会では、市長提出議案などが23件、議員提出議案6件、陳情4件が提出されました。
ここでは、主な議案や、討論が行われ賛否が分かれた議案などを紹介します。

国の交付金を活用した生活支援事業で支援！

～プレミアム付電子商品券発行数増、省エネ家電等の買換え補助金予算増～

補正
予算

議案第47号

令和8年度戸田市一般会計補正予算（第2号）

原案可決（全会一致）

国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、エアコン・冷蔵庫の買換えを対象とする「ゼロカーボン推進補助金」の予算増額および秋に実施予定の「第7弾プレミアム付電子商品券」の発行セット数を増加します。（50,000セットから80,000セットに増加）

Q

補正予算の内容、積算根拠は。

A

10月利用開始予定のプレミアム付電子商品券の発行セット数を30,000セット増加する。プレミアム原資分と商品券発行や決済代行手数料で合計3,660万3,000円となる。

賛 成

政策TODA

古屋 としみつ 議員



本補正予算について、物価高騰対策として市民生活支援を迅速に実施する必要があることから賛成する。しかし、TODAPAYのアプリ登録者は市民全体の3割程度にとどまり、多くの市民が制度の入口に立てていない状況である。さらに、市外在住の市内在勤者も対象となっており、申込みや抽選によって支援額にも差が生じるなど、公平性に課題がある。今後はより多くの市民の理解と納得が得られ、公平に支援が行き届く制度設計となるよう求める。

補正
予算

議案第44号

令和8年度戸田市一般会計補正予算（第1号）

原案可決（全会一致）

Q

生活保護費追加給付事業を行う経緯、対象世帯と支給額、開始時期は。

A

最高裁判決を踏まえ、国は追加給付実施の方針を決定し、本市も国の方針に基づき実施。対象は、平成25年以降の基準改定により生活扶助基準等が減額された約4,600世帯、支給額平均は一世帯73,000円程度。令和8年9月支給に向け準備を進め、広報や市ホームページで周知する。

Q

戸田公園駅周辺まちづくり用地の暫定利用候補者の辞退の経緯は。

A

3事業者から住宅展示場の提案を受け、選定委員会にて第3位まで候補者を選定したが、第1位候補者が中東情勢などの影響により辞退し、ほか2者も同様の理由で辞退した。

賛 成

政策TODA

遠藤 英樹 議員



戸田公園駅周辺まちづくり用地の暫定利用について、契約に至らず減額補正となった。当該土地は戸田公園駅前開発のための用地であり、そもそも長期の賃貸借という判断が正しかったのか。戸田公園駅前開発はボートのまち戸田のブランディングも含め、本市の将来を決定づける大事な事業。市民の皆様に期待だけを抱かせて今の状況を続けることのないよう、この土地の利用を含めた駅前の開発をしっかりと議論して正しい結論に導いてほしい。